

- 問1 1894年に朝鮮半島で発生した農民による反乱について、当時の宗教団体名から何という？
- 問2 18世紀後半から欧州で始まり、生産力の飛躍的な増大と資本主義の発展をもたらした変革を何という？
- 問3 1877年、西郷隆盛を中心とした鹿児島県の士族らが、明治政府に対して起こした日本最大規模の反乱を何という？
- 問4 第一次世界大戦前に形成された、イギリス・フランス・ロシアによる軍事的な協力体制を何という？
- 問5 北里柴三郎が感染症の研究において発見した、当時は恐ろしい流行病の病原体である細菌を何という？
- 問6 日本の紡績業において、海外から輸入して加工の原料とした農産物を何という？
- 問7 明治政府が産業の近代化を進めるため、欧米の技術を導入して群馬県に設立した官営模範工場を何という？
- 問8 下関条約後に日本国民の間で高まった、復讐を誓って苦勞に耐えることを意味するスローガンを何という？
- 問9 外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権の撤廃を実現したのは何年？
- 問10 富岡製糸場に代表される、繊維工業を中心とした初期の産業分類を何という？
- 問11 明治時代に、銅山の鉱毒によって流域の農作物や住民に甚大な被害を与えた事件を何という？
- 問12 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 問13 大日本帝国憲法において、統治権の主体であり、主権者とされた存在は誰（何か）？
- 問14 工業化の進展によって都市への人口集中が進んだ際、都市の環境を整えるために整備された、衛生的な生活を支えるための設備を何という？
- 問15 アメリカへの留学を経験し、帰国後に女子英学塾を設立するなど、日本の女子教育の普及と向上に力を尽くした人物は誰？
- 問16 1885年に導入され、初代内閣総理大臣として伊藤博文が選ばれた行政組織の仕組みを何という？
- 問17 自由民権運動の高まりを受けて、政府が国会開設を正式に約束した公的な文書を何といいますか？
- 問18 納税額などによって選挙権を制限し、国民のわずかな層にしか投票を認めなかった制度を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 東学党の乱	農民たちは「東学」という宗教を組織的に受け入れ、反封建・反外勢力を掲げて武装蜂起しました。これが東学党の乱です。朝鮮政府は清に援軍を要請し、日本もこれに対抗して軍を送りました。
問2	答え 産業革命	産業革命は、機械の発明と工場の普及によって、生産力が飛躍的に向上した出来事です。これにより大量生産が可能となり、資本主義経済が発展しました。しかし、その一方で資本家と労働者の間で経済的な格差が拡大し、過酷な長時間労働や貧困などの社会問題が深刻化しました。これが社会主義という新たな思想が生まれる土壌となりました。
問3	答え 西南戦争	1877年、政府の政策に反発した鹿児島県（旧薩摩藩）の士族たちが、西郷隆盛をリーダーとして担ぎ上げ、西南戦争を起こしました。最新の兵器を備えた政府軍（徴兵令による国民軍）に対し、旧式の装備が中心の士族軍は苦戦し、最終的に鎮圧されました。
問4	答え 三国協商	三国協商は、これらの国々が結んだ外交的・軍事的な協力関係です。この枠組みにより、世界は二つの陣営に分かれることとなりました。
問5	答え ペスト菌	北里柴三郎は香港で流行していたペストの調査に赴き、そこでペスト菌を発見しました。彼は細菌学の世界的権威として知られ、破傷風の血清療法を開発するなど、感染症予防の先駆者として活躍しました。
問6	答え 綿花	日本の紡績工場では、インドやアメリカなどから安価で品質の良い綿花を大量に輸入しました。その原料を使って高性能な機械で綿糸を製造し、それを中国などのアジア諸国へ輸出する貿易体制を確立しました。このプロセスは、日本が輸入加工型の工業国へと転換したことを意味します。
問7	答え 富岡製糸場	富岡製糸場は、1872年に群馬県に設立された官営の模範工場です。フランスから指導者を招き、最新の製糸機械を導入して大量生産を行いました。これにより、日本の製糸技術は飛躍的に向上しました。
問8	答え 臥薪嘗胆	この出来事をきっかけに、当時の日本人はこの言葉を合言葉にして、対ロシアへの復讐心を燃やしました。薪の上に寝て胆をなめるという中国の古い故事に由来しており、将来の雪辱を誓う姿勢を象徴しました。
問9	答え 1894年	1894年、外務大臣の陸奥宗光は、イギリスとの間で日英通商航海条約を締結しました。これにより、日本が長年苦しんできた領事裁判権の撤廃が達成されました。当時の欧米列強は日本の近代化を認めざるを得ない状況にありました。
問10	答え 軽工業	軽工業とは、重工業に対して比較的小規模な資本や機械で行われる製造業を指します。明治時代初期の日本においては、特に製糸や綿織物といった繊維産業が中心となって輸出を支え、国家の近代化を強力に牽引しました。
問11	答え 足尾銅山鉱毒事件	足尾銅山から排出された鉱毒（煙や廃水）が、周辺の山林を枯らし、渡良瀬川に流れ込んで農地を汚染しました。これにより流域の農作物が育たなくなり、住民の健康被害も発生する深刻な公害問題となりました。
問12	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を特命全権大使として、木戸孝允や大久保利通ら政府の主要メンバーが欧米へ派遣されました。彼らはアメリカやヨーロッパ諸国を巡り、進んだ産業や政治制度を学びましたが、条約改正の交渉は相手国の理解を得られず失敗に終わりました。
問13	答え 天皇	大日本帝国憲法では、天皇を統治権の総攬者と位置づけました。天皇は軍の指揮権を持つ統帥権や、国会を開いたり解散したりする権限など、非常に強い力を持っていました。国民は「臣民」と呼ばれ、あくまで天皇の統治の下で制限付きの権利を認められる存在でした。
問14	答え 上下水道	人々の健康を守り、伝染病を防ぐために、清潔な水を供給する上水道と、汚れた水を処理する下水道の整備が進められました。これにより都市の環境が改善され、近代都市としての社会基盤が整えられました。
問15	答え 津田梅子	津田梅子は6歳で岩倉使節団に随行して渡米し、11年間の留学生活を送りました。帰国後はその経験を活かし、現在の津田塾大学の前身となる女子英学塾を創設しました。女子教育の先駆者として、女性の自立と知的発展を強く願い、当時の家庭中心的な女性観に風穴を開けました。
問16	答え 内閣制度	1885年、それまでの職制を廃止して内閣制度が創設されました。初代内閣総理大臣には伊藤博文が任命され、各省庁の大臣をまとめる責任者として行政の統括が行われるようになりました。これにより、近代的な政府の仕組みが本格的に完成しました。
問17	答え 国会開設の詔	1881年、政府は国会開設の詔（国会開設の勅諭）を出し、10年後の1890年に国会を開くことを約束しました。これにより、政治の枠組みを憲法に基づいたものに変える準備が始まりました。
問18	答え 制限選挙	制限選挙とは、性別、財産、納税額などの条件を設けて有権者を限定する方式です。明治時代の初期には、多額の税を納める男子のみが選挙権を持つ仕組みであり、限られた資産家や地主による政治運営が行われていました。